



充実の2学期へ

長く、楽しい夏休みが終わりました。今年の夏は、東京で8月1日以降21日連続雨が降り、40年ぶりの長雨でした。そうかと思えば、ここに来てうだるような暑さが戻ってきました。そんな中でも子どもたちは、元気に夏休みを過ごせたことと思います。大きな事故やケガもなく、子どもたちが本日元気な顔を見せてくれたことを嬉しく思います。

さて、今日から2学期のスタートです。2学期は、運動会、展覧会と大きな行事や様々な取組が続きます。じっくりと一つ一つのことに取り組んでほしいと思います。それぞれの行事や取組には「目的・ねらい」があります。「何のために、今このことをがんばっているのか」という思いを意識して取り組むことが大切です。そして、低学年は低学年なりに、中学年・高学年もそれぞれに「中小の一員だ」という自覚を高めていってほしいと思います。子どもたちの成長に向けて職員一同がんばっていきます。

目に見えない力を

この長い夏休み、子どもたちは様々な体験をしたことと思います。また、夏休みは心身ともに大きく成長する期間でもあります。それだけに普段の生活ではできない体験をすることは、大変重要なことだと思います。

その中で、夏休み中に子どもたちの「力」になったものが、たくさんあったことと思います。「25メートル泳げるようになった」「ラジオ体操に休まず出かけた」「夏休みの課題に取り組み、やりとげた」などは「目に見える力」です。この「力」は子ども自身にも分かりますから、これからの生活の大きな自信になります。

また、子どもの内面で成長した「目に見えない力」も色々あったことと思います。これらを見つけて子どもにしっかり自覚させてやるのは大人の役目です。

「田舎のおばあちゃんのお手伝いやいたわりの言葉をかけていた」「部活動で家族旅行に行けなかったお兄ちゃんに、おみやげを買ってきていた」「公園で近所の小さい子が泣いているのを助けてあげた」など……。その行動は、「心の成長の証（あかし）」であり、「素晴らしいこと」です。子どもの何気ない行動の裏にある「価値」を言葉にして子どもに返してあげることが大切です。数字には置き換えられず、学校の成績には直接は関係ありませんが、優しさ、思いやり、根気強さ、正義感等が統合された「人間性」の目を見つけて子どもに返してあげたいものです。これは、人が人として生きていく上での礎となっていくことと思います。

2学期も子どもたちは、精一杯がんばってくれることでしょう。今学期も保護者、地域の方々のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

スクールゾーン車両通行自粛呼びかけ重点運動ご協力のお願い

今回は、秋の交通安全運動期間に合わせて9月25日（月）～9月29日（金）に設定させていただきました。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。